

出版を喜び合う



出版記念パーティであいさつする観世さん
 夫妻(壇上) 丸写真は観世さん

母校の元気度を示すス
 ポーツ関係の選手たちが、
 いま脚光を浴びている。特
 に今年目立つのはサッカー

期待の 星たち

や野球。「福岡大」の名を
 どれほど高めてくれるか。
 期待の星たちの動向を探っ
 てみた。

全国制覇は射程内に

Jリーグついに30人

サッカー



サッカー監督
 の乾教授

サッカー部からJリーグ
 へ輩出したプロ選手は今
 春、計三十人に達した。こ
 のうち日本代表チームに選
 ばれたのはこれまで三人。

J1千葉からご意見番とし
 て故郷に帰ってきた黒部光
 昭(アビスパ福岡)一昨年
 夏のW杯ドイツ大会に出場
 した坪井慶介(浦和レッズ)
 そして、今年为中国で行わ
 れたばかりの東アジア選手
 権で岡田ジャパンに招集さ
 れて活躍した田代有三(鹿
 島アントラーズ)。
 昨シーズン10得点を上げ

てチーム得点王に輝いた高
 橋大輔(大分トリニータ)
 も、今年はいっそうの活躍
 が期待できそう。三十人目
 のJリーグ選手になるのは
 今春卒業する西田信孝。J
 2のFC岐阜へ。JFLな
 どにも三人が入団する

く貢献した。今春にはU-
 18代表候補に入っている新
 人二人も入部してくる。二
 人とも即戦力という。
 全日本大学サッカーで二
 夢の全国制覇はいよいよ射

甲子園の主役入部

阪神入り 白仁田も期待

野球

これらに続く有望選手と
 してクロウズアップされて
 いるのがU-19(19歳以
 下)日本代表のFW永井謙
 佑(一年生)。一月のカター
 ル国際親善での優勝に大き

プロ野球に入団している
 野球部出身選手は三人。昨
 年入った川頭秀人投手、
 シーズン途中に阪神タイ

のユニホームを着る新人の
 白仁田寛和投手。
 野球部の樋口修二監督に
 よると、喜田は移籍して大
 ブレーク。「今年は期待で
 きますよ」。川頭は故障し
 ていた膝も回復しており
 かわず落とし、の異名を
 とるフォークで一軍へ殴り
 込みをかける。白仁田は右
 肩の回復も順調。重い速球
 に球団の期待も大きい。
 現役チームは今春、新人
 十六人が入部。この中で注
 目は副島浩史(佐賀北)。
 昨年夏の甲子園大会で「が
 ばい旋風」を巻き起こした
 主役だ。広陵高との決勝戦
 では3点差の八回一死満塁
 で逆転満塁本塁打をレフト
 スタンドに打ち込んだ。
 「バッティングはさすが
 がいい。勝負強さとパンチ
 力がある。役に立ちます
 よ」と樋口監督もぞっこん。
 チームは内野が若く、副島
 が守る三塁にはライバルも
 多い。だから監督も「二年
 生ごろから出てきてくれれ
 ば」とじっくり育てる。

観世広さん(経36)が13冊目を発行

四十歳を過ぎて小説を書き始めた元高
 校教師が、ついに十三冊目のノンフィク
 ションを執筆。一月十八日には各界の知
 人たちが集まって盛大な出版記念パー
 ティーを開催した。この人は太宰府市に
 住む観世広さん(本名・山本政広)。母
 校の経済学部を昭和三十六年に卒業。辛
 口エッセイなどで知られる。

十三冊目の出版は「焦土
 へ帰りゆく人々」(梓書院)
 多と二日市を舞台とする敗
 戦秘話」。敗戦直後の荒廃
 した郷土を舞台に見聞した
 事実を小説風に書き上げ
 た。「戦争の記憶が少しで

も残っているうちに文字に
 したかった」という。
 観世さんは筑紫中央高か
 ら一年浪人して経済学部
 入学。しかし、大学四年間
 は新聞部活動に打ち込ん
 だ。「経済学部卒ではなく、
 新聞部卒です」。三年時に
 を原点に社会時評やエッセ

多感な中学生の心の動きを
 綴った「我が愛するママ」。
 昭和五十七年に初出版され
 た。県立早良高を五十八歳
 で退職。その後も教育問題
 高倉直などの各氏。参加者
 は友人や知人など約百四十
 人。同じ母校出身で地元太
 宰府市の井上保廣市長らも
 駆け付けた。
 観世さんは謝辞で、七十
 歳を超して心がけているこ
 ととして「人の意見を聞
 く。忙しいと言わない。自
 分のやっていることを人に
 言う」の三点をあげ、拍手

敗戦秘話を小説風に

大学は「新聞部卒です」

編集長になり半月ごとに新
 聞を発行。年間十四回出し
 た。予算がなくて部員は広
 告取りに走り回ったとか。
 卒業後は教壇へ。中学校
 を十年、高校で二十五年
 間。途中で書いた小説が地
 元新聞に百回連載された。

観世さんが編集長を務め
 る投稿専門誌「ものも
 す」は平成十年に創刊し
 て以来、すでに五十四号。
 毎回七十〜八十頁。エッセ
 イ、意見、評論、俳句、短
 歌など自由な投稿で、無料
 を浴びた。

「バッティングはさすが
 がいい。勝負強さとパンチ
 力がある。役に立ちます
 よ」と樋口監督もぞっこん。
 チームは内野が若く、副島
 が守る三塁にはライバルも
 多い。だから監督も「二年
 生ごろから出てきてくれれ
 ば」とじっくり育てる。



13冊目の表紙

歴史書き残そう

学文会の50年を綴る「七隈讃歌」

発足五十周年を迎えた母校・学術文化部会(略称「学文会」)の歴史を綴る記念誌がこのほど発刊された。タイトルは「七隈讃歌」。現在四十部を数える学術・文化系のクラブ活動の盛衰を、歴代の常任幹事経験者やクラブOBたちが執筆している。全国の主要大学やマスコミにも配布、「福岡大」を積極PRする。



1年がかりで編さんされた記念誌「七隈讃歌」

「七隈讃歌」を発刊したのは学文会常幹OBと現役常幹約二百七十人で組織する「松陵会」。OBの中には七十歳を超して逝去者も出始めたため「このままでは歴史が消える」「半世紀の事実だけは書き残そう」

読み物から記録まで

全国主要大学にも配布へ

岡大の末永直行理事長、山下宏幸前学長、衛藤卓也学長、有信会の井口政壽名管理部長、川畑懿子理事長などが祝辞を寄稿。常幹経験者三十九人、クラブOB二十六人がそれぞれの時代の貴重なエピソードなどを披露、学文会をめぐる読み物にもなっている。

会長に中島氏

松陵会役員改選

松陵会は総会を一月三日に開き、役員改選を行った。主な新役員は次のとおり(敬称略)
 ▼相談役「伊藤改進(商務局長)現役常幹

各界で活躍する協賛者三十二人も私の学生時代」と題して秘話などを綴った。また、母校の沿革から学文・体育両部会に所属するクラブOB会まで記録した資料編、各年代メモリーた資料編、各年代メモリーダイジェスト版。松陵会が予定している配布先は母校、有信会、父母後援会、学文・体育両部会の全八十六クラブ、主要大学、有力高校、公立図書館、そして新聞・テレビ各社など。部数に余裕が出れば希望者への頒布も見込んでいる。関係者は「母校や有信会からのご支援があったからこそ出版が実現した」と感謝している。

母校落語研究部出身で立川談志に入門していた立川生志(人文61)が念願の真打に昇進、晴れの披露落語会を六月二日(月)午後六時から福岡市中央区のアクロス福岡でも行うことになった。落研OB会あげて全面バックアップする。生志が入門したのは昭和六十三年。これまでは「笑志」の名前で、テレビやラジオでも若手売れっ子として活躍してきた。真打昇進を機に「生志」に改名する。真打披露はまず四月四日に東京・帝国ホテルで行う。続いて四月二十二日、五月九日、同十九

武雄事件の殺人犯ねじ伏す

佐賀県武雄市の病院で入院患者が拳銃で射殺された事件で、福岡県警の警部補が暴力団組員の容疑者と格闘の末、その場でねじ伏せた。銃口を前にして冷静に対処した警部補は母校卒。学生時代から空手の少林拳法部で活躍していた。関係者は「これぞ少林拳魂」と喝采を送っている。

事件が起きたのは昨年十一月八日。武雄市の整形外科病院で二階病室に入院していた自営業者が暴力団関係者と間違われて拳銃で撃たれ、間もなく死亡した。

警部補(法60)がお手柄

銃口を前に少林拳魂!

指導官を務めている。事件発生から十七日後の十一月二十五日午前零時四十分ごろ、同僚や若手警察官と三人でパトカーに乗り、大野

の警部補(法60)は福岡県警地域部所属。職務質問の

市内の街頭を警ら中に不審車両を見つけた。女性運転の車はパトカーを見て急にUターン、ネットカフェの駐車場へ。

うとした。警部補はとっさに男の右手を抑えたが、男は「撃つぞ」「撃つぞ」。同僚も男の背後から組み付いた。もみ合って男の手が上向いた瞬間に「パーン」。銃声が響いた。

パトカーは逆方向から駐車場へ入り、車から降りた男に職質。車内検索にかかると男が大声で拒否。内ボ



立川生志になった真打

日二十三日とスケジュールいっぱい。落研OB会ではお祝いとして、後幕とのほりを贈ることにしている。大学名も入れる予定。福岡での真打披露には談志師匠をはじめ一門のメンバーが勢揃いする。入場料は五千五百円。

七隈ウーマンが、また全国に輝いた。母校在学生の三四%が女性という時代。現役も卒業生も、その活躍ぶりは目覚ましい。環境省など主催の「エコジャパンカップ2007」のエコミュージック部門で現役のサリーケイ

サリーケイさん (医5年生)

♪ 赤い空 青い星 白い雲 まとつた私は儂い泡 広い宇宙の中で 満たされない夢を叶えるために 浮かんでいる。サリーケイさんが作詞・作曲した「たびんちゅう」

の歌詞の一節だ。メロディは軽やかで早いテンポのポップス系。「自分が今いるのも、周りの友だちや自然や地球があるから」との思いを込めた。人間が住める星は地球だけ。これを大

切に守って行こうとの願いを言葉にしたという。エコジャパンカップは平成十七年に名古屋で行われた「愛・地球博」をきっかけに始まった。企業市民、文化それぞれの分野でコン

あった受賞記念ステージでは、本人が透明感のある歌声で受賞曲を披露した。エコジャパンカップは平

ら「私立でもOK」となつて福岡大医学部へ。音楽には幼い時から親しんできた。父親がコンサートなどイベント関係の仕事で、自宅に音響機器もたくさんあったからだ。中学生のころから作詞・作曲も始めた。大学に入って、学年が上がるごとに勉強時間が増えてくる。しかし、学校近くの自宅にはシンセサイザー一台を置いて、目覚まし代わりに毎朝十分前後は弾くのが習慣。

今回の「たびんちゅう」は旅と宇宙を繋いだ造語。自己採点は七十点とか。二十曲を超す自作の曲のうち「YUNTA YUNTA」「SEAYYA」などはネットで聴いても見えないようにしている。将来は故郷に帰って医者になるのが夢。その時、音楽は治療の一環として患者の心を和ませる手段に使うつもりだ。「だから、聞く人に合わせたい音楽作りをめざしたい」という。



サリーズ・恵美子さん(法H8)

第5回女性起業家大賞 特別賞



第五回女性起業家大賞の特別賞になったサリーズ・恵美子さん(法H8)は福岡市中央区赤坂一丁目にある株式会社「ティーツーイー」の代表取締役。つまり社長だ。三月に発行された日本

で、受験勉強も必要なかった。当然、大学入試も全く経験なし。四人姉弟の長女だが「もともと知らないものへの好奇心が強い」性格から、一年生の時にラクロスの同

好会を作った。競技のルールも練習方法も知らないまま。そこで関西学院大へ習いに行つたとか。ゼミは国際政治学が専門のウエストン・スチファニー教授。就職は父親が不動産会社をやっていたので、初めは建設会社へ。しかし、八年前の2000年に「ティーツーイー」を立ち上げた。毎日の情報も配信してい

る。物件の転売を扱う「売りボウズ」も人気商品に。女性起業家大賞への応募は福岡商工会議所が推薦した。福岡県内からの受賞は四年ぶりのことという。ご主人のニック・サリーズさんはカナダ出身。日本にきてもう二十数年になる。九州で暮らす外国人や海外からの観光客向けの情報誌「FUKUOKA NOW」の発行責任者。この情報誌は日本語、英語、中国語、韓国語で書いてある。



伊万里支部が再発足

平成八年から、休眠状態だった伊万里支部が十二年ぶりの総会を二月二日伊万里市のウエルサンピア伊万里で開催した。会員五十四人が参加。有信会から真新しい支部旗が贈られ、再スタートを祝った。

12年ぶりお目覚め



総会には大学から就職・進路支援センターの中村信博センター長ら、有信会からも川畑理事長が出席。昨年の準備会で確認されていた堤茂樹支部長(工51)が「世代を超えた懇親の場として支部の輪を少しずつ広げていきたい」とあいさつ。懇親会では全員が校歌や七隈トンビを力いっぱい斉唱した。同支部はもとと昭和四十四年に設立されたものの、活動が一時期停止。このため堤支部長らを中心に支部再開へ動いてきた。

西日本シティ銀行支部



秋の経済学部も講演会を計画中。福岡会は創立四十年記念としてトヨタ自動車の徳田勇治取締役の記念講演を予定。商学部第二部も卓話を検討している。

学部同窓会の開催予定 (2月末現在判明分)

名称	開催日	会場
人文学部代議員総会	4/26(土) 11時~13時	大学内
商大会第3回総会(短大・商大)	5/17(土) 15時~17時	福新楼
商学部第3回総会	5/18(日) 5時~10時	大学内ホームカミング終了後
法学部第4回総会	6/22(日) 10時~14時半	大学内
鳥帽子会第27回総会(医学部)	7/12(土) 16時~20時	福岡国際ホール
経済学部第4回総会	10/25(土) 16時半~20時半	福岡国際ホール
福陽会40周年総会(工学部社会デザイン工学科)	11/22(土) 15時~16時半	ホテルニューオータニ博多
商二部第3回総会	11/23(日) 12時半~	福岡国際ホール
健信会(スポーツ科学部) 第20回総会	検計中	
薬学部	次回は平成22年ごろの予定	
理学部	次回は平成22年に予定	
化工会(工学部化学工学科)	昨年開催、3年に1回	
福電会(工学部電気工学科)	昨年開催、5年に1回	

総会は多様に

学部同窓会の年間スケジュールがほぼ出そろつた。各学部とも総会では講演会やアトラクションなど多様な行事を予定するところが多い。さて、あなたの学部は?。総会のトップを切る商大はまず講演会。人文学部は森茂樹教授から「博多から日本史を見直そう」と題した話を聞いたあと、総会と懇親会。続いて翌日には

商学部。当日は大学のホームカミングデーがあり、これが終わった後に総会を予定している。法学部は「思い出の名講演会やアトラクションも

医学部と大病院の合同同窓会。まず特別講演会をエールホールで。聖路加国際病院の日原重明理事長の「命の大切さを考える」を聞く。総会と懇親会は福岡国際ホールで行う。

有信会の動きなどを聞いた。新入行員二十二人もそれぞれ自己紹介。仕事の話や学生時代の思い出など、和やかな雰囲気の中で懇親。参加者は更なる親交と支部発展を誓い合った。

二水会(商大31年卒)

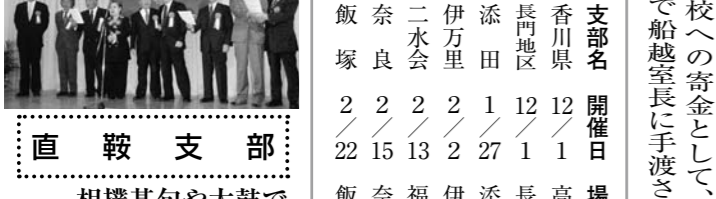
商大第四期生「二水会」の総会は二月十三日、福岡市中央区の新新楼で行われた。有信会から佐藤副理事長が出席。会員ら三十人が顔を揃えた。八年前から同伴者も準会員に登録したため微増傾向にあり、今回も四人のご夫人が会場を彩った。会員百十人は福岡を中心に九州各県、神奈川、茨城、東京などに散在。十一月には一泊二日の予定で各地へ出かけ、地域会員との交流を図っている。来年には発足四十年の節目を迎える二水会。「今後、も参加者増加をめざす」と意気盛ん。

島根東支部

初めの親善ゴルフも島根東支部の第二十九回総会はこのほど出雲市の出雲ロイヤルホテルに、大学から総合情報処理センターの戸崎悟郎事務部長が有信会から水原副理事長が出席、計十八人が参加して開催された。第三十期の事業報告や収支報告があり、新しい事業計画や予算案を可決した。懇親会では母校の近況などで交流が弾んだ。総会に先立って、初めての親善ゴルフコンペも

平成八年から、休眠状態だった伊万里支部が十二年ぶりの総会を二月二日伊万里市のウエルサンピア伊万里で開催した。会員五十四人が参加。有信会から真新しい支部旗が贈られ、再スタートを祝った。

下関支部



き売り保存促進会の上野山陽会長による名調子。売上金は母校への寄金として、その場で船越室長に手渡さ

支部総会記録

支部名	開催日	場所	参加数	本部出席者
香川県 長門地区	12/1	高松市	40	川畑理事長
伊万里	2/27	長門市	25	水原副理事長
伊万里	2/27	長門市	30	川畑理事長
伊万里	2/27	長門市	60	水原副理事長
伊万里	2/27	長門市	31	佐藤副理事長
伊万里	2/27	長門市	14	川畑理事長
伊万里	2/27	長門市	101	川畑理事長

第三十九回を迎えた直轄支部の総会も十一月十六日、直方市のグランデビュで催された。会員百八人が参加。大学から言語研究センターの輪田裕センター長と施設部の竹下博幸部長、有信会から川畑理事長をは

愛媛県支部

75周年事業を聞く。愛媛県支部の第十五回総会は十一月二十九日、松山市のJRI会館で行われた。

長門地区支部

叙勲の藤田氏祝う。長門地区支部の総会は十二月一日、湯本温泉ホテル・枕水であった。会員十二人と大学から七十五周年募金事務室の船越康男室長を迎えた。長門商工会議所会頭で前支部長の藤田光久氏(短大32)が秋の叙勲で旭日双光章を受けたため、支部から花束を贈ってお祝いをした。

平成20年度 特別会計収支予算書(案)

平成20年度 収支予算書総括表(案)

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

単位：千円

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで
単位：千円

科 目	予算額	前年度予算額
I 事業活動収支の部		
1. 事業活動収入		
①特定資産運用収入		
受取利息収入	2,010	1,455
②雑収入	0	0
事業活動収入計	2,010	1,455
2. 事業活動支出		
①事業費支出		
褒章費支出	1,000	1,000
記念誌支援費支出	0	750
会議費	0	0
雑費支出	0	0
事業費支出計	1,000	1,750
②管理費支出		
報酬費支出	0	0
会議費支出	0	0
雑費支出	4	4
管理費支出計	4	4
事業活動支出計	1,004	1,754
事業活動収支差額	1,006	△ 299
II 投資活動収支の部		
投資活動収入		
投資活動収入計	0	0
投資活動支出		
投資活動支出計	0	0
投資活動収支差額	0	0
III 財務活動収支の部		
1. 財務活動収入		
財務活動収入計	0	0
2. 財務活動支出		
財務活動支出計	0	0
財務活動収支差額	0	0
IV 予備費支出	0	0
当期収支差額	1,006	△ 299

科 目	一般会計	特別会計	合 計
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
財産運用収入	1,309	2,010	3,319
入金会金・会費収入	107,294	0	107,294
負担金他収入	4,090	0	4,090
事業活動収入計	112,693	2,010	114,703
2. 事業活動支出			
事業費支出			
母校援助費支出	19,500	1,000	20,500
広報関連支出	30,375	0	30,375
会員大会等支出	10,701	0	10,701
支部援助費支出	11,400	0	11,400
事業費支出計	71,976	1,000	72,976
管理費支出			
給料手当等支出	16,552	0	16,552
会議・通信費等支出	17,977	0	17,977
賃借料他支出	3,464	4	3,468
管理費支出計	37,993	4	37,997
事業活動支出計	109,969	1,004	110,973
事業活動収支差額	2,724	1,006	3,730
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
退職給付引当預金取崩収入	925	0	925
投資活動収入計	925	0	925
2. 投資活動支出			
退職給付引当預金支出	760	0	760
固定資産取得支出	1,300	0	1,300
投資活動支出計	2,060	0	2,060
投資活動収支差額	△ 1,135	0	△ 1,135
III 財務活動収支の部			
1. その他の収入			
前受入金会金・会費収入	72,140	0	72,140
その他の収入計	72,140	0	72,140
2. 収入調整勘定支出			
前受入金会金等調整支出	72,210	0	72,210
収入調整勘定支出計	72,210	0	72,210
財務活動収支差額	△ 70	0	△ 70
IV 予備費	1,500	0	1,500
当期収支差額	19	1,006	1,025
前期繰越収支差額	80,785	19,427	100,212
次期繰越収支差額	80,804	20,433	101,237

母校出身の松尾氏
母校出身の判事としては
第一号の宮崎地方裁判所・
家庭裁判所の所長だった松
尾昭一氏(法45)が二月
七日の最高裁人事で、福岡

福岡高裁の総
括判事に異動

高裁の総括判事に発令され
た。



岩国支部は有志による忘
年会を十一月三十日、岩国
市の割烹・喜代で行った。
同店オ
ナーをは
じめ会員
十三人が
参加。フ
グ懐石を
楽しんだ。
添田支部の第三十一回総
会は一月二十七日、福岡県
田川郡添田町の味の蔵麵処
九ちゃんで開催した。二十人
が参加。大学から法人事業
部の瀬理憲二部長、有信会
から水原副理事長、田川支
部代表が出席。

岩国支部は忘年会

31回総会には20人

香川県支部が発足二十周
年を迎えた。これを記念す
る総会は十二月二日、高松
市の全日空ホテルで開か
れ、四十人が参加。大学か
ら宮本徳夫学長補佐ら、有
信会からも川畑理事長をは
じめ大阪、岡山各支部代表
らが出席した。支部が発足
したのは本州一四国を結ぶ
瀬戸大橋開通の年。井川支
部長が感慨を述べ、支部設
立のため県内を駆け回った
当時の苦労話なども披露さ
れた。会員の医師による
「メタボリックシンドロ
ム」の講演もあった。懇親
会では十人がけの各テーブ
ルに話題提供者二人ずつを
配置、参加意識を高めた。

香川県支部



「いつかは福岡でも勤務
したい」と語っていた夢が
実現した。同氏は東京地裁
を振り出しに、専ら刑事裁
判を担当。横浜地裁総括判
事から平成十八年六月に宮
崎へ。(本紙122号参照)

平成20年度 事業計画書(案)

有信会・福岡大学ともに新執行部となり、両者のパートナーシップの強化が期待される。母校と有信会の発展充実には相互に補完し合っており、有信会は母校への物心両面の支援活動を継続する。一方、会員の親睦を増進し、一般参加の講演会やボランティア活動など地域社会への公益活動を更に推進する。

1 公益活動の推進

- ・大学の広報活動やエクステンション活動、就職進路支援活動を組織的に支援する。
- ・大学75周年記念事業の支援企画を検討する。
- ・会員以外の一般市民も参加できる講演会を開催する。
- ・10月上旬有信チャリティゴルフ大会を開催する。

2 事業活動の充実と会員相互の親睦強化

準会員である在学生と会員との交流をはかり、有意義な情報交換と人材育成の場を目指した「在学生との懇談会」を開催する。

学友会活動を支援している学友会OB会との連携を強化して、「有信八日会」「有信ゴルフ会」等の事業を充実させる。支部の活性化をはかるために、会員大会と同日に「支部長会」を開催する。

3 広報活動の充実

広報紙「有信」とホームページのそれぞれの機能を充実させて、更に親しみやすく分かりやすい広報を目指す。

4 組織の活性化

地域・職域の支部とともに各学部同窓会、学友会OB会と有信会を支える基盤が強化されたので、この組織が相互に有機的に機能し会員が有信会活動に気軽に参加できる環境や情報を提供する。

5 会員データベースの充実と情報の管理体制の徹底

会員データベースは同窓会活動の源になる情報であり、個人情報保護法を遵守して個人データの取得、管理に遺漏のないよう努める。

6 財政基盤の強化

今後の財政基盤の強化のため、経費節減への一層の努力と終身会費の徴収の徹底、資金運用の効率化に努める。

7 各種会議・会合の有効な運営

各種会議・会合を必要に応じて開催し、組織の活性化に努める。

8 公益法人制度改革に伴う準備

公益法人制度改革3法の施行に伴って、対応検討委員会を設置し、定款等の変更に備える。

平成20年度 一般会計収支予算書(案)

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

単位：千円

科 目	予算額	前年度予算額
I 事業活動収支の部		
1. 事業活動収入		
①財産運用収入		
基本財産運用収入	1	0
特定資産運用利息収入	1,225	1,066
一般利息収入	83	10
②入会金収入	47,897	46,190
③会費収入		
会費収入(1)	47,897	46,190
会費収入(2)	11,500	12,000
④負担金収入	4,000	4,020
⑤雑収入	90	90
事業活動収入計	112,693	109,566
2. 事業活動支出		
①事業費支出		

母校援助費支出	19,500	19,500
広報紙発行費支出	23,080	23,208
IT事業費支出	7,295	6,284
会員大会費支出	5,338	5,370
レディースクラブ総会支出	2,493	2,417
講演会支出	1,770	2,390
新年賀詞交換会支出	1,100	1,100
支部援助費支出	11,400	11,173
事業費支出計	71,976	71,442
②管理費支出		
給料手当支出	13,667	13,752
退職金支出	925	3,370
福利厚生費支出	1,960	2,046
会議費支出	4,270	4,200
旅費交通費支出	4,580	4,050
通信運搬費支出	4,900	5,200
消耗品費支出	800	802
印刷製本費支出	3,427	3,210
賃借料支出	1,184	1,184
光熱費支出	230	230
支払手数料支出	300	300
雑費支出	1,750	1,750
管理費支出計	37,993	40,094
事業活動支出計	109,969	111,536
事業活動収支差額	2,724	△ 1,970
II 投資活動収支の部		
1. 投資活動収入		
①退職給付引当預金取崩収入	925	3,370
投資活動収入計	925	3,370
2. 投資活動支出		
①特定資産引当預金		
退職給付引当預金支出	760	825
②固定資産取得支出		
什器備品取得支出	1,300	500
投資活動支出計	2,060	1,325
投資活動収支差額	△ 1,135	2,045
III 財務活動収支の部		
1. その他の収入		
①前受入金収入	36,070	34,940
②前受会費収入	36,070	34,940
その他の収入計	72,140	69,880
2. 収入調整勘定支出		
①前受入金調整支出	36,105	34,765
②前受会費調整支出	36,105	34,765
収入調整勘定支出計	72,210	69,530
財務活動収支差額	△ 70	350
IV 予備費支出	1,500	0
当期収支差額	19	425
前期繰越収支差額	80,785	69,122
次期繰越収支差額	80,804	69,547

(注)

1. 収支予算書は18年度から「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申し合わせ)に示された3区分の様式により作成している。
2. 平成20年度収支予算額での前期繰越収支差額は、平成19年度決算見込額で計上している。

心新たに飛躍期す

新春恒例の母校・新年交歓会と有信会・賀詞交換会が相次いで開かれた。母校の創立七十五周年を間近にして参加者たちは「さらなる飛躍を」と心を新たにしたり。七十五周年の記念式典は来年十月二十四日に予定されている。



なごやかに懇談する新年交歓会

新年交歓会 母校

「地域に根を張って」

母校の新年交歓会は一月五日、七隈キャンパス内のヘリオスプラザで行われた。大学をはじめ有信会や父母後援会などから関係者約二百四十人が参加。厳粛な中でも新年の言葉を交わすなど華やいだ雰囲気も漂った。

学校法人の末永直行理事長がまずあいさつ。衛藤卓也学長による新体制が十二月から始動していることもあって「魅力ある学園作りに新たな一歩を踏み出した。全学が一致協力して飛躍の年にしなければならぬ」と、参加者へ緊張感を求めた。

賀詞交換会 有信会

「実行あるのみです」

続いて衛藤学長が登壇。「大学は規制緩和され、供給過剰に伴う競争の激化が予想される。地域に根を張って安定と発展の軌道に乗せたい」と力強く決意を述べた。

有信会の賀詞交換会が開かれたのは一月九日。福岡市中央区の福岡国際ホテルに母校の衛藤学長や各副学長、学部長などを来賓として迎え、約二百二十人が参加した。和太鼓演奏のアトラクションなどもあり、全員が声を揃えての校歌斉唱で盛り上がった。

主催者あいさつに立った有信会の川畑理事長は「少子化の影響は母校にも必ず



会話も弾む賀詞交換会

述べた。公開の場での決意表明は、学長に就任して初めてのこと。会場はかたずきのんで聞き入った。

有信会からは川畑理事長、各副理事長、理事などが顔を揃えた。交歓の場では「おめでとう」「今年もよろしく」など、あいさつとともに交流の輪が広がった。

和太鼓演奏したのは現役学生のサークル。元気いっぱい、力強い太鼓の音が空気を振るわせた。最後には有信会飯塚支部の緑川紀彦支部長と大学の馬本誠也副学長がお互いにエールを交わして万歳三唱した。

■お悔やみ申し上げます■

吉田 信夫氏（よしだ・のおお）名誉教授、土木工学二月二十三日死去、七十三歳。自宅は福岡市早良区。本吉 敬治氏（もとよし・けいじ）名誉教授、経済政策論一月二十五日死去、八十三歳。自宅は未公表。

内藤 説也氏（ないとう・せつや）名誉教授、内科学）昨年十二月九日死去、七十二歳。自宅は未公表。

◆有信会の主なスケジュール◆

月	日	予 定 行 事
4	2	大学入学式
	17	監査
	20	古賀支部総会
	23	第1回理事会
	下	島原支部総会
5	上	佐賀支部総会
	8	在学生との懇談会
	16	北九州支部総会
	18	第7回ホームカミングデー
	22	柳川支部総会
	27	第2回理事会
	下	十一会（福経22年卒同窓会）
	下	浮羽、山口、福岡市役所各支部総会
	下	外専同窓会
6	5	東京支部総会
	上	宗像支部総会
	中	神戸、日田、大分市役所、豊和銀行、福岡銀行各支部総会
	21	20年度会員大会
	29	沖縄支部総会
	下	太宰府支部総会
7	2	第3回理事会
	5	佐世保支部総会
	6	筑紫野、大野城各支部総会
	上	岩国、久留米各支部総会
	中	伊都、諫早、鳥取西部、別府、京滋各支部総会

[注] 上中下は上旬、中旬、下旬
学部同窓会は別記（5面）

ホームカミングデーは5/18

新年度は母校の入学式から始まる。四月二日（水）に第二記念会堂で行われ

る。大学側が例年招待している卒業生は今年、昭和四十年卒が対象。さらに、卒業生たちが母校に集まる第七回ホームカミングデーは五月十八日（日）に予定されている。参加は無料。支部とも年一回のことだけに、趣向を凝らしている。

商学部第二部が「社会人コース」の履修生を募集している。会社員、公務員、中間管理職などがビジネスマネジメントを体系的に学べるコースで、第二

部学生とともに夜間で受講（二十単位以内）。十二単位以上の修得者には修了証を出す。募集人員は二十人程度。出願は三月下旬。申し込み・問い合わせは商学部事務局 TEL 092-871-6631（内2546）

社会人コースの履修生募集 商二部

「大学と有信会は歯車の関係。これが噛み合わなくなったり、離れたりしてはならない。感性をひとつに、連帯して大学を運営したい」と、母校への支援を呼びかけた。

会費未納者には「有信」削減
有信会の終身会費は、平成十一年卒から二万円のうち一万円を卒業後に納めることになっています。この未納者には年三回發送する「有信」を一回に削減します。未納の方は残り一万円を至急納入して下さい。

発行所
福岡市城南区七隈 8-19-1
福岡大学内
社団法人 有 信 会
郵便番号 814-0180
電話 (092) 871-6631
FAX (092) 863-3668
印刷所
福岡市西区周船寺 3-28-1
正光印刷 (株)